

子育て・教育

支え合い、励まし合い、笑顔があふれるまち おおいそ



差し伸べてくれる手が
たくさんある

子育て支援センター

講座やイベントの参加、子育てコンシェルジュやアドバイザーへの相談、芝生で遊んだりするなど親子で気軽に遊びに来れる場所として、子育てのサポートをしています。友達の輪を広げていけるようなあたたかみのある、ふれあい活動の場となっています。

子どもはみんなの宝物。お父さんお母さんも他の誰かに頼ることで、安心して一緒に子育てしていくことができます。

●主な講座

ベビーマッサージ・親子で楽しもうリトミック・茶道・
フラワーアレンジメント・ママのためのフラ・イクメン講座など

Many ways to support your needs

Child-rearing Support Center

The center is a place where parents and children can casually pop in and play, and also receive support for their child-rearing needs. You can join lectures and events; receive consultation services from the child-rearing consultant and adviser, or you can simply play on the lawn yard. This place is designed as a warm meeting space for providing activities to expand the circle of friends. Children are everyone's treasure! This is a place that dads and moms can rely on and raise their children with peace of mind.

Major workshops

Baby massaging. Enjoy Eurhythmics for parents and children. Tea ceremony. Flower arrangement. Hula dancing. Parenting for dads.



横溝千鶴子記念子育て支援総合センター(めばえ)
Yokomizo Chizuko Memorial Comprehensive Child-rearing Support Center (Mebae)



石坂卷子記念子育て支援センター(すくすく)
Ishizaka Makiko Memorial Child-rearing Support Center (Sukusuku)



全国初!

朝の子どもたちの居場所づくり事業

小学校の始業前に、学童保育施設などを利用して、子どもたちが安全・安心に過ごすことができる居場所を設け、心豊かで健やかに育まれる環境をつくる事業です。

主に早朝ボランティアの方々が見守りを行う中で、自主学習や交流活動、運動などを行っています。また、他学年とも係わる活動も行っています。上級生は下級生を思いやる気持ちを、下級生は上級生の良いところを学び、たくさんの驚きと発見で毎日いきいきと笑顔があふれる日々を過ごしています。

ふれあって子育てする

子どもたちの居場所づくりを応援

Support projects to provide a children's place where child-rearing parents can interact each other.



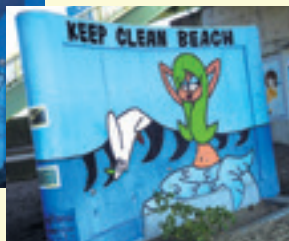
A project to create a children's place in the morning

This project is to set up a place where children can spend a safe and secure time before their classes start by utilizing an after-school center. The project provides an environment where children can be nurtured healthily and with comfort. Volunteers of the early morning shift watch over the children's self-study, exchanging activities, and exercising. Children are spending their daily lives happily with surprising discoveries from activities, while mixing with older and younger kids.

子どもたちの笑顔ひろがる アートでのつながり



平成25年(2013年) 6月にシャワーウォールの絵がリニューアルしたミー・イシイ画伯の絵画
Painting by Mr. Me Ishii, whose shower wall painting was renewed in June 2013



大磯在住イラストレーター たかしまてつをさんの絵画
The painting by Mr. Takashima Tetsuo, an illustrator and a resident of Oiso town

海辺でウキウキさせる浜辺のギャラリー(北浜海岸の壁画)は
大磯町商工会青年部の主催で平成2年(1990年)から始めました



大磯町商工会青年部 大磯町商工会青年部 大磯町商工会青年部

大磯町商工会青年部 大磯町商工会青年部 大磯町商工会青年部



健康・福祉

ともに支え合いながら、いつまでも住み慣れた地域で暮らせるまち おおいそ

生きがいマップ

相模湾の青い海、緑の丘陵など自然に恵まれた環境で、高齢者がいつまでも元気で持てる力を発揮し、ともに支え合いながら、安全に安心していつまでも住み慣れた地域で暮らしていくために、たくさんの方の活動を紹介します。

地域での活動内容

ちいきの集い	お茶のみや歌、レクリエーションなど
老人クラブ	地域の仲間との旅行やスポーツ、地域活動など
趣味	絵画や写真、歌、手工芸、囲碁、将棋など
健康・運動	太極拳やグラウンドゴルフ、健康体操など
ボランティア・まちづくり	多様なボランティア活動



大磯ENばんく

健康や趣味など活動団体を紹介



大磯ENばんくとは、大磯の素晴らしい人と人との縁という社会資源=生活のEnergyを集め、出会うための場所として生まれ命名されました。

基本的には、おおいそ生きがいマップWeb版で、各団体の情報を掲載しています。掲載団体は順次追加していきます。

Let's Walking

歩いてみよう
健康家族



てくてく町おがきんぼ

おおいそまちウォーキングMAP

検索



Oiso EN Bank Project

En means "bond" in Japanese. "Oiso EN Bank" was created and named as a place to enhance social resources by interacting with and utilizing the talents of the local people. Oiso EN Bank is provided through the "Oiso Ikigai Map" website. The site features information and activities of organizations. It will be updated periodically.



スクエアステップのひろば

未病を改善し、みんなで楽しく健康寿命を延ばす

転ばぬ先の
予防医学！

3つの予防

ロコモ予防・認知症予防
あらゆる体力づくりに

スクエアステップは、横4個×縦10個のマス目のマット上で、決められたステップを踏むエクササイズです。バランス力や筋力を維持する「※ロコモ予防」や、記憶力や認知機能向上に効果のある「コミュニケーション」を取り入れた新しいエクササイズです。

また、高齢者だけでなく成人の生活習慣病予防、子どもたちの身体機能の発達、あらゆる年齢層の体力づくりや、アスリートの競技力向上とコンディショニングにも適用できます。

町では、スクエアステップの指導者が地域で活躍しています。

※ロコモ 運動器の障害のために移動機能が低下した状態



Three preventative measures

Preventing locomotive syndrome/dementia Building up physical strength for all purposes

“Square-steps” is an exercise performed by stepping on a mat printed with 4 rows of 10 boxes in sequential order. It is a new communicative exercise for the “revitalization of brain and body” and it is effective for improving balance and muscle strength, the prevention of LS, as well as improving the memory and cognitive function.

It is not only effective for the elderly, but also for various age groups. For adults it helps to prevent life-style related diseases and for children to develop physical functions. The exercise is ideal for all age groups to improve physical strength and even athletes to increase their competitive power and conditioning. Many people are working as instructors of this exercise throughout the town.



未病対策に
取り組みます

フレイル予防3本柱

社会参加

趣味・ボランティア
・地域活動など



メタボを
早期発見!

栄養

食・口腔機能



運動

身体活動・運動など



高齢者の心と体の働きが弱くなってきた「フレイル(虚弱)状態の兆候を早期に見出し、適切なケアをすることで、フレイルになる前の健康な状態に戻れるように、サポートをしています。

健康に長生きするために
フレイルを予防しましょう!!



Prevent Frailty Syndrome to have a healthy long life with preventive care.

The town provides optimum care and support to retain the healthy condition prior to full-scale frailty by finding early symptoms of “weakness” in elderly people.

自立心の維持と向上を支援

年齢を重ねても、いきいきと過ごせるよう健康寿命を延ばすことが大きな目標です。

町では、いつまでも、健康で明るく、いきいきと過ごせるように、おあしす新聞を発行するなど、積極的に呼びかけを行っています。



一緒にやってみるべえ
おいそ骨太体操って
どんな体操をやるの?

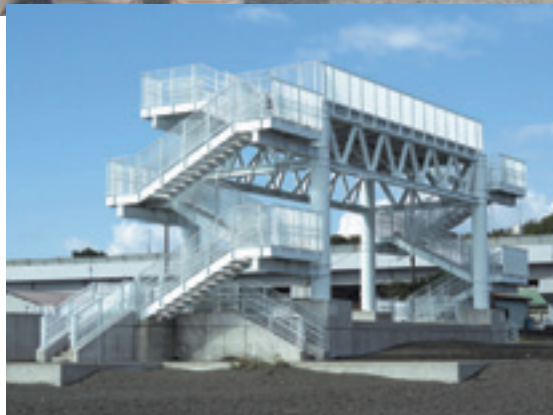
リズムカルな動きで骨に刺激を与えてくれる大磯町オリジナル体操です。

YouTube



あらゆる災害にそなえ、的確に対応できるまち おおいそ

安全・安心なまちづくり



津波避難タワー

平成29年（2017年）7月、北浜海岸の利用者等で、主に逃げ遅れた方を対象とした、両側の階段を4方向から上り下りできる津波避難タワーが完成しました。海拔11m（高さ7.9m）の最上部には約100人が避難できます。

また、避難以外でも最上部からの眺望を楽しんでもらうほか、タワーステージは地域活性化を目的とする活動に利用することもできます。

Tsunami Evacuation Tower

The Tsunami Evacuation Tower was completed in July 2017. It is a refuge for people who cannot evacuate from the Kitahama Coast when a tsunami occurs. The tower consists of stairs that go up and down the tower on either side of a large platform. The top of the tower is situated 7.9 m (11 m sea-level) high and accommodates about 100 people. In addition, you can enjoy a magnificent view on the top floor and utilize the tower stage for local activities.

音声でも聞ける!



▲iOS用



▲Android用

いつでも安心
町公式防災アプリ
『おおいそ防災・
行政ナビ』

災害時に限らず平時から役立つ情報を、音声・文字・画像などでわかりやすくお知らせする機能を備えた無料情報ポータルアプリです。

登録方法

- 1 各アプリストアで『ライフビジョン』を検索し、インストール
- 2 アプリが起動したら、「地域を選択してログイン」を選択
- 3 7桁の数字を入力
 - (1) 町内在住の方は、お住まいの郵便番号7桁を入力（例：大磯町大磯在住の方は「2550003」）
 - (2) 町外在住の方は、「2558555」を入力



※利用料は無料です。通信料は利用者負担となります。



自助・共助・公助 町の取組み

災害用ドローンが動き回る姿は圧巻

県と合同で津波対策訓練を実施しています



大磯港を会場として、県と合同で津波対策訓練を実施しています。

自衛隊、警察、消防、近隣自治体などの公的機関のほか、防災関係団体による救出救助、物資輸送訓練等が行われます。複数の大型艦船やヘリコプターのほか、災害用ドローンが動き回る様子は圧巻です。

※毎年、県内沿岸自治体が変則的に担当し、実施されています。

かながわシェイクアウト（いつせい防災行動訓練）

町では、県で取り組んでいる訓練会場に参加者を集める方式の防災訓練とは異なり、事前登録した不特定多数の人が一斉にそれぞれの場所で、

- 1 まず低く！ DROP!
- 2 頭を守り！ COVER!
- 3 動かない！ HOLD ON!

等の安全確保行動を行う防災訓練を実施しています。



スタンドパイプの放水体験を実施しています



スタンドパイプとは、地域の方々が道路等にある消火栓に差し込んでホースをつなぎ放水する初期消火を行うための資機材です。

主に体験を行う町内自治会では、消火栓を利用して、放水訓練を実施しています。消防団が使用するものより細めのホースで取り扱いやすくなっています。

交通安全意識を向上 自転車教室を実施しています

町では、小学生に自転車を安全に利用してもらうために、自転車の正しい交通マナーの指導と、自転車を使い実践的な交通事故の場面を想定した体験を行う小学生自転車交通安全教室を警察と協力して実施しています。



Check!



大磯町防災ガイドブック「そなえ」

災害から身を守るための防災ガイドブック「そなえ」を町ホームページでご覧いただけます。このガイドは、避難所マップ・災害の知識・防災のノウハウなどを女性の視点を加えてまとめたものです。子どもたちや高齢者、ペットがいる場合のポイントも紹介しています。



わくわくが止まらない
スポーツ アクティビティ

元気や活力が生まれるまち おおいそ

スポーツ・レジャー



健康ライフを楽しんで大自然と共存する

豊かな自然に恵まれた大磯町。磯遊びで海の生物とふれあったり、海水浴やサーフィン、釣りを楽しんだりすることができます。また、ハイキングやウォーキングを楽しみながら、かもめやアオバトたちを追ってみたり。きっと、そこには知らない間に笑って過ごせる驚きいっぱいの空間が待ち受けています。

Enjoy a healthy life and great nature

Oiso town is blessed with rich nature. You can find sea creatures while playing at the rocky shores; sea-bathe, surf and fish. You can chase seagulls and Aobato while enjoying a hike or walk. The town offers many surprises awaiting you that will find you laughing and thoroughly enjoying.

SEASIDE STORY



利用状況
予約状況を
チェック



※利用状況の確認には
登録が必要です。

スポーツを楽しもう 大磯運動公園

- 野球場 ●テニスコート ●多目的広場
- 3on3 バasketコート
- ランニングコース ●ストレッチ広場
- 遊歩道

Enjoy Sports at Oiso Sports Park

Baseball Field , Tennis Courts , Multipurpose Field , 3 on 3 Basketball Court
Running Course , Stretching Field , Promenade



大磯で感動を再び!

ねりんピックかながわ2022「サーフィン(ショートボード)会場」として 2022年11月 ふれあいスポーツ交流大会を開催



海という大自然の中でサーフィン。その瞬間に訪れる奇跡とダイナミックな技。未病改善を目的に開催されるこのイベントで、町ではオリンピック競技にもなった180cmほどのショートボードを使った競技の交流が行われます。

みんないきいきと
楽しそうだべえ





昭和39年（1964年）の大磯ロングビーチホテル（旧1号館） Oiso Long Beach Hotel in 1964



1960年代の全景 Full view of the hotel in 1960's

大磯プリンスホテル 2度目の選手村に 大磯エリアの素晴らしさを伝えたい

東京オリンピック ヨット競技の選手村から始まった

大磯プリンスホテルは、大磯ホテルとして、昭和28年（1953年）8月に営業開始。当初は洋室12室のスタートでした。

その後、昭和39年（1964年）東京オリンピックのヨット競技選手村として近代的な建物が建設され、同年7月に旧1号館が完成すると、記念式典が開催され、営業を開始しました。

※昭和51年（1976年）に大磯プリンスホテルへと改称
各部屋には、テレビ、冷蔵庫が備えられ、浴室や冷暖房も完備。また、200人程入れる食堂には、ハワイ風景の写真を電光仕掛で飾るなどホテル内の装飾も施しました。

工費は設備費を合わせ約5億円。鉄筋5階建て全洋間83室という近代的なデラックスホテルの新館となって、380人程の選手を迎えました。

参考：大磯町広報「昭和39年8月15日発行第46号」
日本経済が黄金期を迎えると、高度経済成長とともに日本を代表するホテルへと躍進し、昭和32年（1957年）に大磯ロングビーチ（プール）の営業によって、東京近郊の高級リゾートとして広く親しまれ、成長しました。

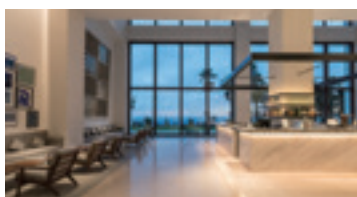
その後平成29年（2017年）春、ホテルリニューアルオープン、また夏には温泉・スパ施設を新設オープンするなど、新

再び選ばれたプリンスホテル 日本が誇れるおもてなしの心で

しい魅力がある上質な「大人のリゾートホテル」として生まれ変わり、通年リゾートとしての一歩を踏み出しました。
そして現在、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会セーリング競技の選手村分村に選ばれ、次の時代へ向け期待を膨らませています。

半世紀を超え、2度目の選手村分村として大磯プリンスホテルが決定すると、選手村として本格的に大会へ向けて開始しました。

お客さま一人ひとりへのきめ細やかなサービスを通じて、たくさん笑顔が見られるように、従業員一丸となってさらなる努力が続けられています。



ロビー
Lobby



オーシャンビューツインルーム
Twin room with ocean view



※東京オリンピック アジア初開催。昭和39年（1964年）10月10日、国立競技場で開会式が行われ、94か国、約5,500人が参加しました。日本は「東洋の魔女」の女子バレーボール、ウルトラC連発の男子体操などの活躍で金メダル16個を獲得しました。



立ち寄りやすいスポット

大磯プリンスホテル

ワンランク上の優雅さを味わえる大磯ロングビーチはもちろん、遊びどころ満載のプリンスホテル。ゴルフやテニスで汗を流した後は、スパで最高の非日常を体感するのもおすすめ。最高な思い出として心を癒やしてくれます。

Oiso Prince Hotel

Oiso Prince Hotel is a luxurious hotel that is famous for its Oiso Long Beach, a renowned resort facility with a wide variety of extended outdoor swimming pools. The hotel also offers many other activities, such as a golf course and tennis courts. Why not treat yourself to thorough indulgence at its spa after playing a few rounds of sports? The Oiso Prince Hotel will offer you unforgettable luxurious moments.



様々な文化の人々とふれあい友好関係を築くまち おおいそ

国際交流・姉妹都市



長野県小諸市(藤村記念館)
Memorial Hall Toson in Komoro City, Nagano Prefecture



岐阜県中津川市(藤村記念館)
Toson Memorial Museum in Nakatsugawa City, Gifu Prefecture

文豪島崎藤村の軌跡は、誕生の地である岐阜県中津川市(旧長野県山口村)、藤村文学の基礎を築いた地である長野県小諸市、そして、晩年を過ごした大機町に残されています。生誕100年であった昭和48年(1973年)を機に、小諸市、山口村、平成17年(2005年)に中津川市と姉妹都市の盟約を結びました。

Shimazaki Toson is a legendary Japanese novelist whose legacies are found in Nakatsugawa city (formerly the village of Yamaguchi in Nagano prefecture) in Gifu prefecture where he was born, Komoro city where he wrote several masterpieces, as well as Oiso town where he spent his final years. The town strengthened its bond with the two cities as it became a sister town with Komoro city and the village of Yamaguchi in 1973, and later with Nakatsugawa city as the village was merged with the neighboring city in 2005.

町の誘致企業の本社が所在する都市であることが縁で、昭和43年(1968年)にデイトン市、昭和57年(1982年)にラシン市と姉妹都市提携の盟約を結びました。



アメリカ合衆国ラシン市
Racine, United States



アメリカ合衆国デイトン市
Dayton, United States

Oiso entered into a sister city relationship with Dayton, Ohio in 1968 and with Racine, Wisconsin in 1982. These cities were selected because the head offices of the invited enterprises are located there. High school students residing in the town participate in exchange programs in both cities.



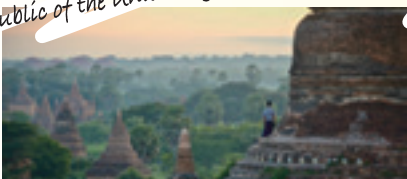
ラシン市、デイトン市とは、町内在住の高校生の派遣と、両市の高校生の受け入れを行い、相互に交流を行っています。

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向けて



大会に向け、町では神奈川県、小田原市、箱根町、星槎グループとともに、アフリカのエリトリア国、南アジアのブータン王国、東南アジアのミャンマー連邦共和国と事前キャンプに関する協定を結び、各国との交流事業を行っています。

Republic of the Union Myanmar



State of Eritrea



Kingdom of Bhutan



エリトリア国
ブータン王国
ミャンマー連邦共和国
事前キャンプで協定

An agreement was made for training camps

Getting ready for the Tokyo 2020 Olympics and Paralympics Games

Oiso, together with Kanagawa prefecture, Odawara city, Hakone-town, and Seisa Group made treaties with the State of Eritrea, the Kingdom of Bhutan and the Republic of the Union Myanmar for accommodating training camps and conducting exchange programs with those countries.



偉大な足跡を残し、町に貢献された数多くの著名人

歴史上の人物・名誉町民

時の政治家や文豪、そして文化人など多彩な人々がこの地を訪れ、偉大な足跡を残し、町や国の発展に大きく貢献してきました。

そのなかで、今日の町の基礎を築き、文化の向上に貢献した数多くの人物に関して、名誉町民の称号を贈っています。これは昭和40年（1965年）に合併10周年を記念し制定されました。町にゆかりがあり、町の誇りである方々です。

Ito Hirobumi

(1841~1909)



大磯駅誕生を
もたらせた
伊藤 博文

初代総理大臣を務めた伊藤博文。大磯停車場は、伊藤らの働きかけにより明治20年(1887年)に誕生。その駅舎は、今日までレトロな面影が受け継がれ、町の玄関口として親しまれています。

※関連 20ページ

Matsumoto Jun

(1832 ~ 1907)



海水浴場
生みの親
松本 順

初代陸軍軍医総監を務めた松本順は、海水浴を健康に良いと勧め、大磯町を別荘地として開発することに大きく寄与しました。松本の墓は、駅裏の妙大寺にあります。

※関連 24ページ

Yasuda Yukihiro

(1884~1978)



歴史画の大家・
文化勲章受章者
安田 靱彦

昭和23年(1948年)文化勲章を受章。歴史画と言われる格調高い日本画の第一人者として、焼損した法隆寺金堂壁画の模写事業や「黄瀬川の陣」[王昭君]など数々の名作を遺しました。

Yoshida Shigeru

(1878 ~ 1967)



戦後日本の復興を
支えた元首相
吉田 茂

昭和20年(1945年)から20数年間を、大磯で過ごしました。多くの政界人や、文人が吉田茂邸を訪れました。

※関連 22-23ページ

Takahashi Seiichiro

(1884~1982)



戦後の教育・
文化制度再建に貢献
高橋誠一郎

慶応大学経済学部教授、同学部長、塾長代行、のちに吉田内閣の文相や日本芸術院の院長など歴任。大正10年(1921年)に王城山の中腹に山荘を建てました。

Soneda Yasuo

(1890~1970)



今日の大磯町の基礎を
築いた元町長
曾根田恭男

昭和29年(1954年)旧大磯町と国府町が合併し現在の磯町が誕生した年、初代町長として、町の発展と基盤づくりに尽力しました。

Osumi Yoshinori

(1945~)



2016年ノーベル生理学・
医学賞の受賞
大隅良典

東京工業大学名誉教授

写真提供：東京工業大学

細胞自らが不要になったタンパク質などを分解する自食作用「オートファジー」の動きを解明し、日本人では25人目となるノーベル賞を受賞しました。

Sawada Miki

(1901~1980)



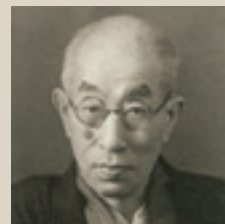
エリザベス・サンダース・
ホーム創設者
澤田美喜

写真提供：エリザベス・サンダース・ホーム

第二次大戦後、戦後混乱期に出生した混血孤児の救済を学園運営の中心にして多くの私財を投入し、昭和23年(1948年)にエリザベス・サンダース・ホームを設立し、子どもたちを育て、教育に努めました。

Shimazaki Toson

(1872~1943)



晩年を大磯で
過ごした文豪
島崎 藤村

写真提供：菊池なつみ氏

昭和16年(1941年)、友人に誘われ「左義長」を見に訪れた藤村は、温暖な大磯の地を気に入りそれがきっかけで大磯に居を構え晩年を過ごしました。

※関連 25ページ

国際姉妹都市交流に貢献された名誉町民(5氏)



P・デイブ・ホール
(当時デイトン市長)



ジェームズ・H・マクギー
(当時デイトン市長)



スティープン・F・オルセン
(当時ラシン市長)



ウィリアム・S・アンダーソン
(当時アメリカNCR会長)



ハンス・ロバート・スワー
(当時NCR会社役員)

文化

学び合い、伝え合い、つなぎ合い、文化を創造するまち おおいそ



Variety of programs offered at the library/the life-long learning center

These facilities provide venues for volunteer-run seminars, meetings, lectures, and workshops; as well as places for many generations of residents and visitors to interact.

Oiso town Folk Museum (on page 24) and the libraries offer a variety of information about the town.

子どもたちから大人まで、多世代がふれあえる場所として、町内外の人たちが利用できる会場の提供や、ボランティアによる教室、講座、各種会議及びセミナーなどに利用されています。
また、郷土資料館（開運24ページ）や図書館では、大磯町を知るたくさんの方の情報も得ることができます。

図書館・生涯学習館での様々なプログラム

図書館では子どもたちの心を育むためにおはなし会などを行っています。絵本作家による講演会なども開催しています。



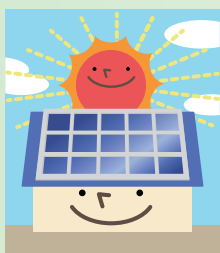
生涯学習館では多世代で楽しめるファミリー教室、青少年おもしろ講座、シニア教室で笑いヨガなどを開催しています。



神奈川県内初!! 大磯町議会が特別表彰を受賞



「大磯町省エネルギー及び再生可能エネルギー利用の推進に関する条例」について議員提案による政策提言がなされ、平成26年（2014年）12月に可決。平成28年（2016年）2月、全国町村議会議長会が毎年実施している町村議会表彰において、大磯町議会が他の範となる先進的な事績を残している議会として選ばれ、特別表彰を受賞しました。



Oiso town has the first local council to win a Special Award in Kanagawa Prefecture.

The policy recommendation was made by the town councilors regarding the ordinance to "Promote Energy Saving and the Use of Renewable Energy Programs in Oiso town" and it passed in December 2014. The Oiso town council received the special award in February 2016 from the National Association of Chairmen of town and Village Assemblies for making an advanced effort to become a good example to other town councils.

省エネルギー及び再生可能エネルギー利用の推進

町では、公共施設等における省エネルギーの推進及び再生可能エネルギーの利用の推進に積極的に取り組むほか、学習の機会を提供し、その他必要な支援や、次世代を担う子どもたちに対する省エネルギー及び再生可能エネルギーに関する教育の取組みを支援していきます。

Promoting energy saving and the usage of renewable energy

The town endeavors to promote energy saving and the use of renewable energy at public facilities. It also provides children opportunities to study energy saving and the use of renewable energy.

第33回町村議会広報全国 コンクールにおいて、奨励賞を受賞

The town received the Encouragement Award at the 33rd National town and Village Assemblies Public Information Contest.

記事の書き方、会議の流れをわかりやすく伝えるページレイアウト、表題と答えを想定した一般質問の仕方など、町民が親しみやすくわかりやすい広報づくりをめざします。

議会



伝わる広報
づくりを!



大磯町議会では、議会の取組みや町の事業など、様々な分野で視察の受入れを行っています